

編集後記

本誌が会員の皆様の手許にとどく頃は夏の盛りかと思いますが、異常気象で昨年のように冷夏にならなければよいがと思っております。しかしながら診療や研究の本質は暑さ、寒さとは関係なく進むことなく続けられるものだと思います。天候そのものは人間の制御の発露と関係があるといわれていますが、ほどよい気候の東北地方はその点では最も条件にかなった土地柄ではないでしょうか？

歯学会が叙知の発露の導火線にでもなればと思います。
(名和橙黄雄)

論文数の少ない号になってしまいました。学術雑誌のことですから数の多寡を気にする必要はありませんが、少し残念です。

各講座の先生方、せめて岩手歯学会に発表なされた

仕事の内容はそれなりに是非活字にまとめておかれることをお奨めします。
(亀谷哲也)

この入梅期に各地に大雨をもたらし、多大の被害の報道がなされたが、会員皆様の地区では如何だったでしょうか。今年の夏は昨年同様に冷夏を思わせる予報がなされています。編集もそれに負けずに、より充実したものをと、一同努力しています。

なお、5巻3号から投稿料の著者負担の軽減が実施されて来ましたが、6巻2号から、さらに図、表、写真等も著者負担が軽くなります。編集員一同、より充実した本会誌を皆様にお届け出来るよう努力しております。会員の皆様の本会誌に対するご理解と暖いご支援をお願いすると共に、ご投稿を期待しています。

(伊藤忠信)

次号誌（第6巻3号）について

投稿締切 昭和56年9月15日

発行予定日 昭和56年11月15日

本号誌 117 頁の投稿の手引きに従ってご執筆下さい。所定の原稿用紙は学会事務局（歯学部A棟4階歯学部長室副室）に備えてありますのでお申し出下さい。

岩手医科大学歯学会編集委員会

岩手医科大学歯学雑誌

第6巻 第2号

昭和56年7月10日 印刷

昭和56年7月15日 発行

発行人 藤 岡 幸 雄

発行所 岩手医科大学歯学会

盛岡市中央通1-3-27

岩手医科大学歯学部内

振替口座 盛岡 1358

電話 0196-51-5111

印刷所 川口印刷工業株式会社

盛岡市本町通2-13-8